# コンピュータと情報システム

情報科学の世界II 2020年度 只木 進一(理工学部)



#### 情報システムの構成要素

#### - 狭義

コンピュータ、専用ソフトウェア、ネットワーク基盤、端末

#### 一広義

- 関連システム、利用者、運用体制、関連 規則を含む

#### 3

#### 情報システム



利用者

管理者

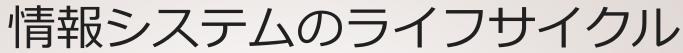
運用体制

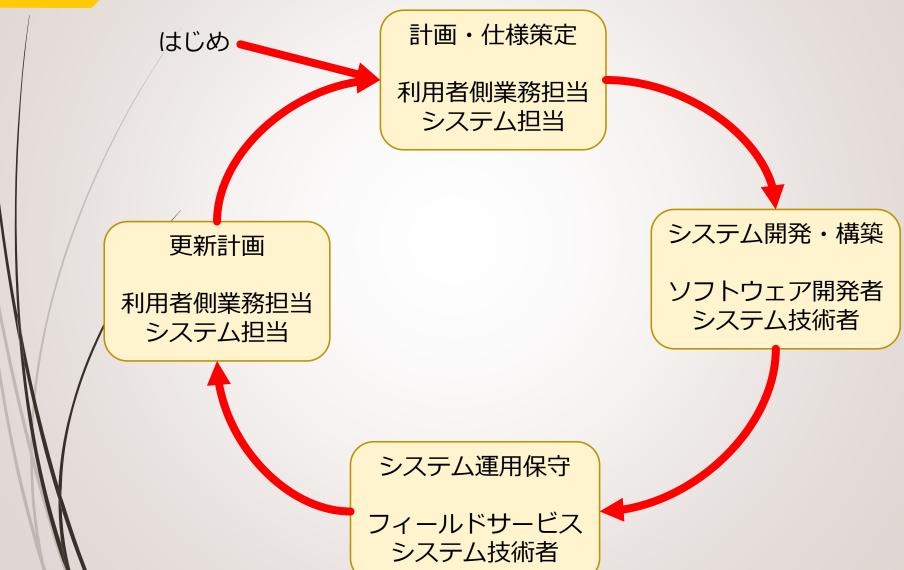
関連規則

関連システム



- 情報システムは手段に過ぎない
  - ■業務の一部、目的に即しているか
- 正しく位置付けられているか
  - →運用体制、手順、規則
- 人的コストは見えにくい
  - 日常運用と非常時の体制
- ライフサイクルの意識







- 日常的運用コスト
  - ■データ更新、バックアップ、利用者支援
- アップデート
  - ▶セキュリティアップ
  - ハードウェア、ソフトウェア
- 障害対応

#### 組織(企業)の情報システム

- データ処理:日々の業務の電算化
  - 会計、経理、人事給与、在庫管理
  - 大量データの自動処理
- ▶製造業の機械制御
- ■意思決定支援システム
  - 経営層の意思決定支援
  - データ分析
- ワークフロー・グループウェア
  - 業務フローのオンライン化



#### 経営を支援する情報システム

- 経営意思決定
  - ▶商品やサービスの決定
  - →資源(人、モノ、カネなど)の配分
  - →取引先の選択
  - ▶投資先の選択
  - 0 0 0
- ▶データに基づく決定が重要



#### 経営意思決定支援システム

- Dashboard:経営に関わる情報の提示 機能
  - 一売り上げ、損益、財務、人員配置、在庫
  - 一競合他社の状況
  - 一市場動向
- → 分析機能:データサイエンス
- シミュレーション機能

## 顧客関係管理: CRM (Customer Relationship Management)

- ■顧客の属性:氏名、住所、年齢、性別など
- →購入履歴、支払い履歴
- ▶オンラインショップでの利用
  - −おすすめ商品
- ■ファストフード、コンビニエンスストア
  - →地域、時間帯に応じた商品配置

### CTI (Computer Telephony Integration)

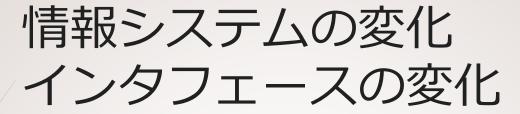
- CRMと顧客センター(電話など)との連携
- ■商品・サービスへの苦情、問い合わせ、 評価
- CRMを参照しながらの対応
- 一対応記録
- → AIの活用



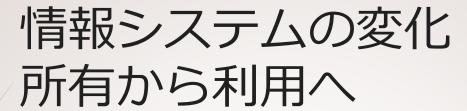
- 人事、給与、勤怠、生産、在庫、財務、 調達、物品
- ERP (Enterprise Resource Planning) system

#### 企業内システム: group-ware: 社内ポータル

- 組織内のコミュニケーション・業務フロー管理ツール
  - ■メール、チャット
  - ■スケジュール、ファイル共有、ToDo管理
  - workflow
  - knowledge management
  - 一研修
  - 一会議
- Office365の例



- →専用機の時代
  - データ連携ができない
  - ■専用アプリが必須
- **-** Webアプリケーション化
  - ▶構成要素の共通化
  - →データ連携可能
  - ►Webブラウザで利用



- On-premises
  - ■情報システムを自組織内に持つ
- クラウド
  - ▶情報サービスを借りる
  - OSやミドルウェアが整備された環境を借りる
  - 自組織のハードウェアを置く場所を借りる
- www.cc.saga-u.ac.jpの例

#### オフィスの変化

- 一人一台のPC
- ▶情報のデジタル化
- paperless化とデジタルでの共有
  - 机の上に書類を積まない!
- PCからシンクライアントへ
  - ■どの端末を使っても自分の環境
- BYOD (Bring Your Own Device)

#### どの席に座っても同じでは?

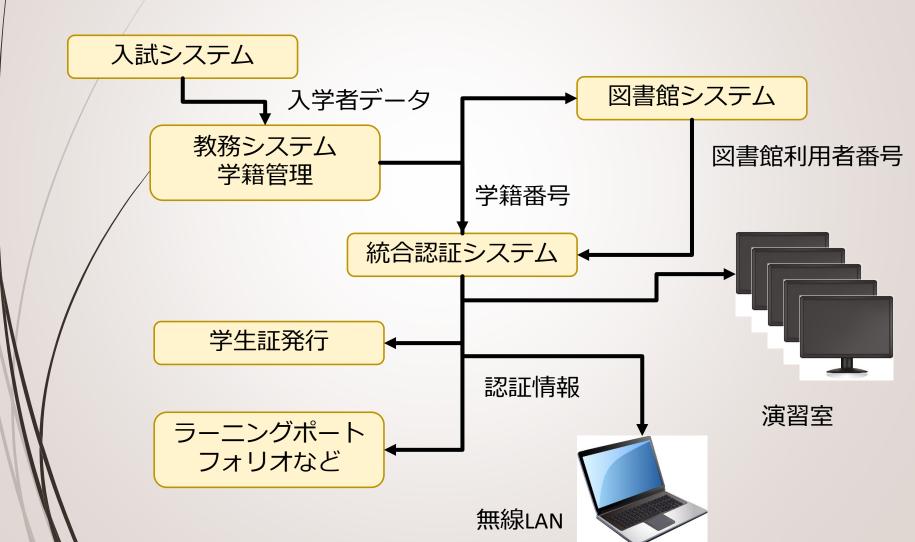
- →プロジェクトを進めている仲間が集まって座った方が効率的では?
- フリーアドレスオフィス
  - ─ 総務省行政管理局
  - <u>→</u>ネットワンシステムズ
- →テレワーク
  - <u></u>佐賀県
- ■コワーキングスペース

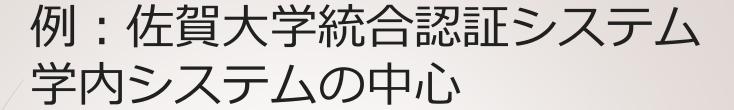
働き方の変化



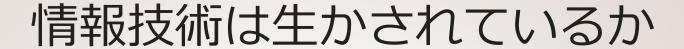
- 教学関連
  - 教務、就職、図書館、研究業績
- 組織業務
  - →人事・給与、財務会計、施設管理
- ▶基盤システム
  - ■ネットワーク、認証、データ連携
- 一広報、分析

### 例:佐賀大学統合認証システム学生情報の流れ





- 学内の多数のシステムに人の情報を渡す
  - 学生:学籍番号、センターID、図書館ID
  - 教職員:職員番号、センターID、図書館ID、 研究者番号
- シングルサインオン機能
  - 図書館の例
- 外部(学認)との情報連携
  - オンラインジャーナルの例



- 業務の仕方は変わったか
  - ■情報技術を活用する業務と紙の業務は違うはず
- →単純な情報技術導入はコスト増要因
  - −情報システム導入コスト
  - 非常に深いカスタマイズのコスト
  - →非情報化フローとの共存のコスト



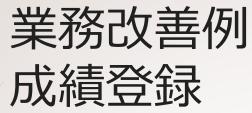
- ■従来の業務をコンピュータで行うのは、 却って非効率になる恐れ
- 業務のフローの明確化
  - ▶不要な箇所はないか:単なる習慣?
  - 情報技術を使って簡素化できるか
  - ─情報技術があれば不要ではないか

### 業務改善例 履修登録

- 履修カードを教務と担当教員へ
- エクセルで履修者名簿を作成
- 学生向け履修簿作成

→時間と人件費の無駄

- システム化で大幅に効率化



- →紙の報告様式に手書き
  - 外注してタイプ
- 教員は捺印して完了
- ▶時間と人件費の無駄

- システム化で大幅に効率化